



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 山田 朗弘 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,864	△19.8	120	△67.8	146	△64.0	100	△63.5
2020年3月期第1四半期	2,326	1.8	373	△5.0	407	△3.6	273	△3.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 100百万円(△63.2%) 2020年3月期第1四半期 273百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.62	—
2020年3月期第1四半期	20.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	33,416	19,349	57.9
2020年3月期	34,125	19,432	55.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,349百万円 2020年3月期 19,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.0	—	14.0	27.0
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	13.0	—	14.0	27.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 本日(2020年8月7日)公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,906	△16.4	329	△55.3	401	△50.5	259	△50.7	19.75
通期	8,523	△13.0	832	△52.7	1,020	△45.6	660	△43.3	50.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 本日(2020年8月7日)公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	14,667,000株	2020年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,533,005株	2020年3月期	1,533,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	13,133,995株	2020年3月期1Q	13,133,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」とする）の影響により、依然として厳しい状況にあり、先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、感染症が内外経済に与える影響と豪雨等の自然災害が経済に与える影響などに十分留意する必要がある状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、前連結会計年度末からの感染症拡大及び緊急事態宣言に伴う自粛により、婚礼施行の延期や宴会利用のキャンセルが相次ぐ状況でありました。

その中で、来館が難しい状況下においても当社施設の特徴や各種オリジナル商品に触れてもらえる機会を作るべく公式ホームページにて「オンラインフェア」を開催したほか、スマートフォンなどを活用した「オンライン相談」や「バーチャル式場見学」を取り入れ、感染症の予防対策に配慮しながら営業を継続し、新規顧客の誘引に努めてまいりました。

しかしながら、婚礼施行組数は大幅に減少となり、売上高は9百万円（前年同期比88.3%減少）、営業損失は33百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、建物貸切型の葬祭施設として2020年4月「湘和会館追分」を開業し、前連結会計年度に開業した「湘和会館入谷」も通年稼働となり、ともに順調に施行件数を伸ばしました。

その中で、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」等、社内製作によるオリジナル商品を通じて、ご家族の方々の想いを形にする提案を行ってまいりました。

また、開業イベントや施設見学会等の営業活動を自粛する中、貸切型施設として家族葬を中心とした不特定多数の人たちと交わらない施設の優位性を主体に広告・告知強化をいたしました。

その結果、当社主要エリアにおける死亡人口増減率が前年同期に比べ下降する中、シェア率は上昇し、施行件数は増加となりました。更に前連結会計年度に連結子会社となった「さがみライフサービス株式会社」も施行件数の増加に寄与いたしました。しかしながら、緊急事態宣言下での自粛に伴う通夜施行及び会食利用の減少、法事利用のキャンセル、会葬者数の大幅な減少等の影響により、葬祭一件単価は減少し、売上高は1,592百万円（前年同期比19.1%減少）、営業利益は352百万円（前年同期比34.3%減少）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、婚礼施行の延期、及び葬祭一件単価の減少等により、売上高は39百万円（前年同期比28.6%減少）、営業利益は17百万円（前年同期比39.6%減少）となりました。

④ 介護事業

当事業では、感染症の拡大予防のための慎重な顧客受け入れ判断を求められる状況に加え、感染リスクを心配した利用控えが発生する等の影響がありました。

その結果、売上高は261百万円（前年同期比4.7%減少）となり、経費面では感染症予防対策のためのアルコール消毒液や防護服などの衛生材料購入費の発生により、営業利益は4百万円（前年同期比67.6%減少）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,864百万円（前年同期比19.8%減少）、経費面では感染症予防対策による経費増もあり、営業利益は120百万円（前年同期比67.8%減少）、経常利益は146百万円（前年同期比64.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100百万円（前年同期比63.5%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して708百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払い及び固定資産の取得等により現金及び預金が1,086百万円減少しました。固定資産は、新店開発に伴う建設仮勘定の202百万円増加を含め、有形固定資産が340百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して625百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が426百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が90百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して83百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、経済活動が徐々に再開してきておりますので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,658,595	9,571,614
売掛金	227,394	203,630
商品及び製品	45,828	42,227
原材料及び貯蔵品	103,350	94,340
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	11,492	11,492
その他	108,562	235,024
貸倒引当金	△3,316	△3,236
流動資産合計	11,151,906	10,155,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,423,796	4,489,801
機械装置及び運搬具（純額）	92,866	88,798
工具、器具及び備品（純額）	147,614	146,448
土地	8,686,631	8,763,798
その他	143,650	345,856
有形固定資産合計	13,494,559	13,834,702
無形固定資産		
投資その他の資産	30,322	28,646
投資有価証券	141,821	142,718
長期貸付金	10,000	10,000
関係会社長期貸付金	220,862	217,989
繰延税金資産	412,494	376,183
供託金	6,854,500	6,854,500
破産更生債権等	139,206	139,206
その他	1,915,589	1,903,316
貸倒引当金	△245,889	△245,908
投資その他の資産合計	9,448,586	9,398,007
固定資産合計	22,973,468	23,261,356
資産合計	34,125,375	33,416,447

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,444	144,568
未払法人税等	431,004	4,883
掛金解約手数料戻し損失引当金	3,331	3,169
その他	740,712	662,308
流動負債合計	1,340,492	814,931
固定負債		
繰延税金負債	24,942	19,041
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	169,640	168,353
資産除去債務	134,803	135,142
前払式特定取引前受金	12,762,966	12,672,045
その他	176,070	173,647
固定負債合計	13,352,336	13,252,143
負債合計	14,692,829	14,067,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	16,481,186	16,397,393
自己株式	△670,502	△670,502
株主資本合計	19,434,595	19,350,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,049	△1,428
その他の包括利益累計額合計	△2,049	△1,428
純資産合計	19,432,545	19,349,372
負債純資産合計	34,125,375	33,416,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,326,636	1,864,977
売上原価	1,631,513	1,421,437
売上総利益	695,123	443,540
販売費及び一般管理費	321,406	323,028
営業利益	373,716	120,511
営業外収益		
受取利息	868	1,016
受取配当金	342	164
掛金解約手数料	5,359	4,325
受取家賃	11,143	10,116
その他	18,758	13,029
営業外収益合計	36,474	28,653
営業外費用		
供託委託手数料	73	74
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	364	954
保険解約損	103	241
減価償却費	1,656	994
その他	147	87
営業外費用合計	2,345	2,353
経常利益	407,844	146,811
税金等調整前四半期純利益	407,844	146,811
法人税、住民税及び事業税	90,476	16,595
法人税等調整額	43,377	30,133
法人税等合計	133,854	46,729
四半期純利益	273,990	100,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	273,990	100,082

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	273,990	100,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△647	620
その他の包括利益合計	△647	620
四半期包括利益	273,343	100,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,343	100,703
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	84,094	1,966,919	13	274,937	2,325,964	671	2,326,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	55,575	—	55,575	—	55,575
計	84,094	1,966,919	55,589	274,937	2,381,540	671	2,382,211
セグメント利益	4,204	536,448	28,323	12,750	581,728	267	581,996

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	581,728
「その他」の区分の利益	267
全社費用(注)	△208,279
四半期連結損益計算書の営業利益	373,716

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,835	1,592,205	—	261,942	1,863,984	993	1,864,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	39,717	—	39,717	—	39,717
計	9,835	1,592,205	39,717	261,942	1,903,701	993	1,904,695
セグメント利益又は損失(△)	△33,045	352,592	17,101	4,129	340,777	△28	340,748

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	340,777
「その他」の区分の損失	△28
全社費用(注)	△220,237
四半期連結損益計算書の営業利益	120,511

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、冠婚事業では婚礼の延期や宴会等のキャンセル、葬祭事業では葬儀の小規模化や会食利用の減少等の傾向がみられました。2021年3月期の有形固定資産の減損テストにおける将来キャッシュフローをはじめとする会計上の見積りにつきましては、当第1四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、直近の業績状況が当年度末にかけてほぼ維持され、翌年度以降緩やかに回復していくものと仮定して判断しております。